



パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で繋がりをより深めあおう

パワー浜松ロータリークラブ (2015-16年度 会長: 知久 武 幹事: 鈴木 尚孝)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第615回例会 2月16日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

●司会: 山崎益男 加藤ひとみ 松井進 ●点鐘: 稲野副会長

●ゲスト: 熊谷光夫様 米山記念奨学生 于春蘇さん

●ビジター: 藤田 充様

●議事: 出席部会「女城主・井伊直虎」

〈出席報告〉

会員数 79名

出席数 66名 出席率 83.54%

前々回出席率 87.34%

■ 会長代理挨拶 稲野副会長



おはようございます。
知久会長が風邪で休みです。皆さんもインフルエンザにかからないようお気を付けてください。さて本日の私の話は国産ジェット機、MRJのことについてです。

たしか昨年暮れに初飛行に成功したニュースはご存知かと思います。そもそもこのプロジェクトは10年ほど前にスタートしました。私の会社も5年前から関わっております。私たちの仕事であるトヨタの仕組みをそのままMJRに移し替えるといった仕事です。その報酬のお金ですがこの国産ジェット機が量産体制に入らないと頂けないことになっています。スタートからテスト飛行が遅れ、量産体制の予定が遅れ、なんと2018年が現在の目標。あと2年は持ち出しでちょっと辛い日々が続くわけです。それまで資金繰りをなんとかしないとダメです。車の部品は数万点といわれますが、ジェット機はその十倍、数十万点。品質管理がとても厳しく、いつどこで誰が作ったかといった記録いわゆるトレーサビリティがそのすべてに必要です。現在三菱重工のスタッフ2000人を主体とする本当に多くの企業が小牧空港や名古屋の飛島で関わっています。なかなか大変な仕事ですが、航空工学に興味のあった私としては何とかこのプロジェクトを早く成功させたいと取り組んでいます。全日空はすでに100機ほど発注しているそうです。日本初国産ジェット機に乗りたいた方がいらっしゃいましたら、初飛行のプラチナチケットをぜひ手に入れてくださいね、乗っていただきたいなと思います。

■ 幹事報告 鈴木尚幹事



おはようございます。藤田さん、お久しぶりです。今日はありがとうございます。ぜひビジターではなく再び会員として会場にいらしてください。先ほどのお話

にもありましたが、知久会長が風邪で欠席です。皆さんもお気をつけてください。来週の例会は26日のIMとなりますので、よろしく願いいたします。ご案内のチラシがレターケースに入っています。開催日、開催時間など今いちどご確認ください。会場はコンコルドホテルです。残念なお知らせが一件あります。出席部会で頑張っている会員の松浦さんが会社の辞令、転勤のため3月15日で退会となります。また、本日例会終了後、理事会があります。出席者の方よろしく願いいたします。

最後をお願いします。卓話の時間を確保するため、今後委員会報告などする場合はこちらの会場監督の隣で待機するようお願いいたします。

■ スマイル 鈴木幹事と安間孝明さんの2件

■熊谷様 本日は早朝よりお忙しい中、パワー浜松の例会で卓話をしていただき誠にありがとうございました。NHKのドラマがますます楽しみになりました。熊谷様のこれからの活躍とご健勝を心より祈念いたします。

■以前、卓話をしてくださった袴田秀子さんの弟さん袴田巖さんのドキュメント映画の上映がシネマイーラで3月19日から始まります。1枚1300円ですが5枚まとめて購入いただきますと1枚1000円で提供できます。私、安間までぜひお声掛けくださいませ。

■委員会報告ほか



I グループ 報告

藤田さん

私たちは先週、蕎麦屋で懇親会を開きメンバー同士交流を深めました。場所は浜松駅の南、科学館の近くに「一

(いち)」という手打ち蕎麦の店です。店主は筑波大学大学院を卒業後、浅草で食べた蕎麦に感動し、独学で蕎麦打ちを習得されたユニークな方です。お酒を酌み交わし、ご主人の蕎麦に対するこだわりを聞いた後はメンバーそれぞれの色々な話に盛り上がりました。プライベートなことまで聞けてとても楽しい時間を過ごすことができました。このような機会を持ってましたこと心から感謝いたします。ありがとうございました。

F グループ 報告

村田さん

なかなかやることが決まらない F グループですが、2月最終の日曜日、28日の午前中に陶芸教室で交流を深めることにしま

した。現在参加者は3名です。グループを越えての参加も大歓迎ですので、興味のある方はぜひご参加ください。館山寺で私たちと一緒にロクロを回し、陶芸にチャレンジしましょう。



■議事

「女城主・井伊直虎」について

卓話者：熊谷光夫様 担当：出席部会 竹林さん



再来年（2017年）のNHK大河ドラマが、高森町とも関係の深い井伊直虎を主人公にした「おんな城主 直虎」に決まりました。遠江の井伊氏お家断絶の危機を救った女領主「井伊直虎 次郎法師」について興味深いお話を頂きました。



井伊直虎（次郎法師）は、井伊家第22代当主・直盛の一人娘。直盛には男子がなく早くより娘の許婚（いなずけ）として従弟（いとこ）の井伊

直親に家督（かどく）を継がせる予定であったが、直親の父が今川氏に殺され、直親（9歳）自身も命を狙われたため、信州へ身を隠すことに。直虎は直親が亡くなったと思い、龍潭寺で出家し次郎法師を名乗った。

11年後、井伊谷に戻った直親は、直盛の養子となり奥山家の娘と結婚し、虎松（24代直政）が生まれました。

1560年（永禄3年）、桶狭間の戦いで直虎の父・22代直盛戦死。井伊家の家臣多数死亡し、大きな損失を被る。1562年（永禄5年）、23代直親が謀殺されると井伊家は存続の危機に。翌年、20代直平死去。井伊の名を継ぐ男子は、直親の遺児、幼い虎松ただ一人となり、1565年（永禄8年）龍潭寺南溪和尚の計らいで次郎法師はその後見人として井伊直虎と名乗り、女領主として井伊家を支えた。井伊谷徳政令にみられる政治手腕は優れており、歴代当主に記名はないが井伊家受難の時代を救った女領主として後世に語り継がれる人物であるとのこと。

身を隠していた直政を1575年（天正3年）浜松城主家康公に仕えさせ、出世を見届けた直虎は、1582年（天正10年）激動の人生に幕をとじる。墓は龍潭寺境内、直親の隣に眠っています。

2017年1月から1年間放送の予定。柴咲コウさんが、どのような直虎を演じるのか楽しみです。